

【Orolmarn】

説明

解説

■ 神殿

嵐の神殿。小神。

■ 称号、職能

様々な獣の“牧夫”としてのオーランスの名。“獣の王”。オーランスの別名の一つ。

■ 概略

“獣の王”とオーランスが腕比べをした折、“獣の王”は自分の息子である獣を賭けて、またオーランスも自分の息子である雄羊ヴォーリオフを代償とし、オロルマーンと名乗り勝負に臨んだ。まずはオロルマーンの勝利であって、オロルマーンは新たな獣を手に入れた。この自らの子供を賭けた勝負は繰り返されて、オロルマーンはそのことごとくに勝利を収め、次々に“獣の王”の子供らを勝ち取っていった。こうして勝ち得た獣にとってはオロルマーンこそ“獣の王”と、彼らを牧するものとなったのである。

オーランスのカルトとしてはオーランスの古い姿を崇めるカルトで、多くは若い神々にその職能を譲っており、これが崇められることは稀である。

■ 相、カルト

すべての父オーランスの下位カルト。

別名

- ・ オロルマーン
- ・ “牧夫” オーランス

参考文献

- ・ 『Thunder Rebel』 p.235、216-217